

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年10月25日

上場会社名 株式会社カインス 上場取引所 東
 コード番号 4556 URL http://www.kainos.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 林司 TEL 03-3816-4123
 四半期報告書提出予定日 2019年11月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,277	1.0	321	4.7	321	△1.1	221	0.7
2019年3月期第2四半期	2,254	12.4	307	89.8	324	80.4	219	72.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	54.76	—
2019年3月期第2四半期	53.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,396	4,230	66.1
2019年3月期	5,858	3,635	62.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,230百万円 2019年3月期 3,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	7.0	550	△5.4	550	△7.8	380	△1.5	103.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,558,860株	2019年3月期	4,558,860株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	377,156株	2019年3月期	869,656株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,039,918株	2019年3月期2Q	4,098,249株

(注)期末自己株式には、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式(2020年3月期2Q 275,500株、2019年3月期 278,000株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年3月期2Q 277,286株、2019年3月期 278,000株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、米中の貿易摩擦の激化による海外経済の停滞が懸念され、消費税増税後の国内消費低迷への影響と合わせ依然として先行きが不透明な状況で推移致しました。

臨床検査薬業界におきましては、市場規模は横ばいから微増で推移するも、2019年の出生率が90万人を下回る見通しなど、将来的な人口の減少や医療費抑制政策の影響が懸念されます。

このような環境の下、当社の当第2四半期累計期間における売上高は、22億7千7百万円（前年同期比1.0%増）となりました。生化学検査分野は11億4千6百万円（前年同期比10.4%増）、免疫検査分野は、10億2千2百万円（前年同期比12.1%減）となりました。また、その他の分野は、1億8百万円（前年同期比102.6%増）となりました。営業利益は、3億2千1百万円（前年同期比4.7%増）、経常利益は、3億2千1百万円（前年同期比1.1%減）、四半期純利益は、2億2千1百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

		前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
		金額	構成比	金額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	1,007,251	44.7	1,109,499	48.7
	免疫血清学的検査用試薬	603,639	26.8	665,101	29.2
	その他	52,269	2.3	108,294	4.8
	計	1,663,160	73.8	1,882,895	82.7
商 品	生化学的検査用試薬	30,833	1.4	36,886	1.6
	免疫血清学的検査用試薬	559,437	24.8	357,267	15.7
	その他	1,450	0.1	565	0.0
	計	591,721	26.2	394,719	17.3
合 計	生化学的検査用試薬	1,038,084	46.0	1,146,385	50.3
	免疫血清学的検査用試薬	1,163,077	51.6	1,022,368	44.9
	その他	53,720	2.4	108,860	4.8
	計	2,254,882	100.0	2,277,614	100.0

(注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産の額は、63億9千6百万円となり、前事業年度末と比べ5億3千8百万円の増加となりました。流動資産は34億4千7百万円となり、前事業年度末と比べ6億1千6百万円の増加となりました。その主な要因は、たな卸資産が1億4千2百万円減少したものの、自己株式の処分による収入などにより現金及び預金が7億2百万円、受取手形及び売掛金5千8百万円がそれぞれ増加したことなどによります。固定資産は29億4千9百万円となり、前事業年度末と比べ7千8百万円の減少となりました。その主な要因は、減価償却費の進捗6千7百万円によるものです。

当第2四半期会計期間末における負債の額は、21億6千6百万円となり、前事業年度末と比べ5千7百万円の減少となりました。その主な要因は、リース債務8千1百万円、賞与引当金1千1百万円などがそれぞれ増加したものの、一方で未払金9千9百万円、未払費用8千3百万円などが減少したことによります。

当第2四半期会計期間末における純資産の額は、42億3千万円となり、前事業年度末と比べ5億9千5百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金の支払い5千9百万円を行ったものの、その一方で、自己株式の処分4億3千5百万円、四半期純利益2億2千1百万円をそれぞれ計上したことによります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、13億1千5百万円となり、前事業年度末と比べ7億2百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億9千2百万円の増加（前年同期は2億6千6百万円の増加）となりました。その主な増加要因は、売上債権の増加5千8百万円、法人税等の支払額9千万円などにより減少した一方で、棚卸資産の減少1億5千6百万円、減価償却費の進捗6千7百万円、税引前四半期純利益3億2千万円などによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、4千5百万円の支出（前年同期は3千8百万円の収入）となりました。その主な支出要因は、基幹システムの更新及び製造機器等の設備投資4千5百万円などによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億5千5百万円の収入（前年同期は6億5百万円の支出）となりました。その主な収入要因は、配当金の支払い5千9百万円などの一方で、セール・アンド・リースバックによる収入9千4百万円及び自己株式の処分による収入4億3千5百万円などによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

医療業界では、医療費の増加と共に少子高齢化の進行や人口減少に伴う労働力の低下を背景に、医療制度の改革が進められています。当臨床検査薬業界におきましても、継続的な医療費抑制政策などにより、市場環境は今後、一層厳しさを増していくものと思われれます。

当社におきましては、全自動輸血検査機器「Erytra Eflexis」をはじめとした輸血検査関連製品（ゲルカラム用全自動及び半自動輸血検査装置並びに専用試薬）並びに多項目標準液を活用した腎機能・肝機能検査試薬を中心とする生化学検査試薬の拡販に注力しております。特に、10月1日付けで生化学の主力項目であるクレアチニンキット「アクアオートカイノス CRE-IV試薬」及び冷蔵多項目標準液である「リキッドキャリブレーター「カイノス」」の2製品を上市し、一層の売上拡大に繋げてまいります。

業績予想については、2019年5月8日の「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想から変更は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	952,763	1,655,300
受取手形及び売掛金	1,214,674	1,272,886
商品及び製品	377,952	228,305
仕掛品	63,277	68,699
原材料及び貯蔵品	194,908	196,388
その他	26,855	25,429
流動資産合計	2,830,433	3,447,009
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	605,325	588,517
土地	1,797,439	1,797,439
その他(純額)	169,184	152,729
有形固定資産合計	2,571,949	2,538,686
無形固定資産	178,335	158,697
投資その他の資産	277,844	252,331
固定資産合計	3,028,128	2,949,715
資産合計	5,858,562	6,396,725
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	441,859	453,613
短期借入金	450,000	550,000
未払法人税等	104,190	90,220
賞与引当金	119,775	131,200
その他	544,161	406,770
流動負債合計	1,659,986	1,631,805
固定負債		
長期借入金	500,000	400,000
株式給付引当金	3,153	2,978
役員株式給付引当金	9,406	16,349
その他	50,619	114,888
固定負債合計	563,179	534,215
負債合計	2,223,165	2,166,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	2,598,018	2,691,125
自己株式	△764,706	△259,662
株主資本合計	3,593,459	4,191,610
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,937	39,093
評価・換算差額等合計	41,937	39,093
純資産合計	3,635,396	4,230,704
負債純資産合計	5,858,562	6,396,725

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,254,882	2,277,614
売上原価	1,113,934	1,121,695
売上総利益	1,140,947	1,155,918
販売費及び一般管理費	833,905	834,544
営業利益	307,042	321,374
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,174	3,157
為替差益	13,074	989
その他	8,228	520
営業外収益合計	24,478	4,667
営業外費用		
支払利息	4,455	4,154
手形売却損	314	146
その他	1,925	389
営業外費用合計	6,695	4,690
経常利益	324,825	321,351
特別利益		
固定資産売却益	106	—
特別利益合計	106	—
特別損失		
固定資産除却損	1,909	410
その他	35	—
特別損失合計	1,945	410
税引前四半期純利益	322,986	320,941
法人税、住民税及び事業税	112,471	77,526
法人税等調整額	△9,100	22,200
法人税等合計	103,371	99,726
四半期純利益	219,614	221,215

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	322,986	320,941
減価償却費	67,372	67,278
売上債権の増減額 (△は増加)	90,788	△58,211
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△170,132	156,920
仕入債務の増減額 (△は減少)	38,547	△2,154
その他	13,804	△100,789
小計	363,366	383,984
利息及び配当金の受取額	3,489	3,152
利息の支払額	△4,486	△4,167
法人税等の支払額	△95,552	△90,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	266,818	292,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	△23,315	△2,028
無形固定資産の取得による支出	△42,548	△43,416
その他	4,064	251
投資活動によるキャッシュ・フロー	38,200	△45,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△100,000
配当金の支払額	△55,806	△59,540
自己株式の売却による収入	-	435,120
自己株式の取得による支出	△541,354	-
セール・アンド・リースバックによる収入	-	94,702
その他	△8,374	△14,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	△605,534	455,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	86	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△300,428	702,536
現金及び現金同等物の期首残高	856,467	612,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	556,038	1,315,300

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月13日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による自己株式490,000株の処分を行いました。この結果などにより、当第2四半期累計期間において自己株式が505,043千円減少し、当第2四半期会計期間末において自己株式が259,662千円となっております。